

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況の青森県への報告について

2019年4月25日

東京電力ホールディングス株式会社

東通原子力建設所

当社は、2011年11月21日に青森県知事から青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた要請をいただき、同年12月1日にその回答をいたしました。

このたび、回答に基づくその後の対応状況（2018年4月～2019年3月）を取りまとめ、本日、青森県に報告いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

○添付資料

- ・青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について（2019年3月末現在）

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
東通原子力建設所 広報グループ 0175-45-7052（ダイヤル）

(別紙)

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況について
(2019年3月末現在)

2019年4月

東京電力ホールディングス株式会社

目 次

| | |
|--|---|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 対応状況（県内事業者間による連携強化） | 1 |
| a. 平常時における安全管理等に係る協力活動 | 1 |
| b. 訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動 | 2 |
| 3. 今後の予定 | 2 |
| 添付資料 | |
| 「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容 (2018年4月～2019年3月) | 3 |

1. はじめに

2011年3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故から8年余りが経過しているにも拘らず、今なお、青森県の皆さまをはじめ、社会の皆さまにご迷惑とご心配をおかけしておりますことに対し、改めて深くお詫び申し上げます。

引き続きプラントの安定状態の維持に取り組むとともに、福島第一原子力発電所の着実な廃炉の推進を中長期にわたって進めていくことにより、避難されている方々のご帰宅の実現および社会の皆さまが安心して生活いただけるよう、全力で取り組んでまいります。

当社、東通原子力発電所は、2011年3月末時点において、総合進捗率約10%となっておりましたが、今回の事故を踏まえ、本格工事を見合わせているところであります。

このような状況の中、当社は、青森県知事より、青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた要請を受け、「青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について（平成30年3月末現在）」を2018年4月27日に報告しておりますが、この報告以降から2019年3月末までの取り組み状況について、以下のとおり報告いたします。

2. 対応状況（県内事業者間による連携強化）

2011年12月9日に締結した「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく「原子力安全推進協議会」および「原子力安全推進作業会」を以下のとおり開催し、青森県内における原子力災害への対応能力向上のための活動等に係る相互協力を行っております。

- ・原子力安全推進協議会：2018年11月12日，2019年3月18日
- ・原子力安全推進作業会：2018年6月19日，9月12日，12月7日，
2019年2月27日

上記会議に基づく具体的な活動について、以下のとおり実施致しました。

a. 平常時における安全管理等に係る協力活動

- ①日本原燃株式会社による講演会「MO導入研修」に参加（2018年11月5日）
- ②リサイクル燃料貯蔵株式会社による講演会「核セキュリティを巡る国内外の警備情勢について」に参加（2018年11月9日）

- ③電源開発株式会社による講演会「心に響くコミュニケーション ペップトーク」に参加（2018年12月20日）
- ④東北電力株式会社による講演会「核セキュリティ最新動向と核セキュリティ文化：あなたの役割」に参加（2019年2月15日）
- ⑤各事業者にて実施している新規制基準への適合審査に関する情報共有
- ⑥東北電力株式会社，日本原燃株式会社およびリサイクル燃料貯蔵株式会社における防災業務計画見直しに関する情報共有

b. 訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動

- ①東北電力株式会社の防災訓練に合わせて、「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」対応訓練を実施（2018年9月28日）
- ②各社が日常的に行っている防災訓練（要素訓練）の相互見学を実施
- ③東北電力株式会社，日本原燃株式会社にて実施した原子力防災訓練に関する情報共有

3. 今後の予定

2011年12月の「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」の締結以降、「県内事業者間による連携強化」に関する活動を行ってきました。2019年度以降も引き続き、「同協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に向けて取り組んでまいります。

以 上

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(2018年4月～2019年3月)

| 活動項目 | 活動内容 | 備考 |
|--------------------------------|--|---------------------|
| a. 平常時における安全管理等に係る協力活動 | ①日本原燃株式会社による講演会「MO導入研修」に参加(11/5) | 次年度以降も継続実施 |
| | ②リサイクル燃料貯蔵株式会社による講演会「核セキュリティを巡る国内外の警備情勢について」に参加(11/9) | |
| | ③電源開発株式会社による講演会「心に響くコミュニケーション ペップトーク」に参加(12/20) | |
| | ④東北電力株式会社による講演会「核セキュリティ最新動向と核セキュリティ文化：あなたの役割」に参加(2/15) | |
| | ⑤各事業者にて実施している新規制基準への適合審査に関する情報共有 | |
| | ⑥東北電力株式会社、日本原燃株式会社およびリサイクル燃料貯蔵株式会社における防災業務計画見直しに関する情報共有 | |
| b. 訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動 | ①東北電力株式会社の防災訓練に合わせて、「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」対応訓練を実施(9/28) | 次年度以降も継続実施 |
| | ②各社が日常的に行っている防災訓練(要素訓練)の相互見学を実施 ・日本原燃株式会社(全社、濃縮:10/26, 全社、埋設:11/8, 全社、再処理:1/29) | |
| | ③東北電力株式会社、日本原燃株式会社にて実施した原子力防災訓練に関する情報共有 | |
| c. 取り纏め | ・2019年度の活動計画作成 | 本計画に基づき2019年度の活動を実施 |